

投稿 : Mani Pirouz

## SAP Signavio x マッキンゼーインタビュー – Value Bridge とプラグアンドゲインの提供するもの

**「プラグアンドゲインのアプローチに非常に興奮しています。何故なら、2023 年から、実装の一環としてスプレッドシートの作成に 10,000 時間も必要無くなるからです。生成型 AI の時代には、平均的なテクノロジーを最適化できます。そのため、変革には穏健なアプローチが必要です。私たちにとって、プラグアンドゲインは、変革の漏れを修正するための重要な機能の始まりです。」**

**ダーウィン・ディアノ氏 (パートナー, マッキンゼー・アンド・カンパニー)**

オランダで開催された SAP Sapphire 2023 は、啓発的なショーケース、基調講演、プレゼンテーションが満載のイベントで、私に後々まで続く影響を残しました。際立った瞬間の 1 つは、ルーベン・モラト、ゲロ・デッカーとマッキンゼーのダーウィン・ディアノ氏による SAP Signavio の基調講演です。彼らはビジネスプロセス変革の力を詳しく掘り下げ、組織が変革の過程を通じて継続的な価値を推進できるようにする、SAP Signavio を活用した包括的なマッキンゼーのオフアリングである Value Bridge の共同立ち上げを発表しました。重要なメッセージ: 今日の急速に進化するビジネス環境において、組織は競争力を維持するためにデジタル変革を受け入れ、インテリジェント テクノロジーを活用する必要があります。



Sapphire keynote

彼らはプロセス最適化の重要性を強調し、プロセス分析やマイニング機能を含む SAP Signavio のプラグアンドゲインアプローチが企業の運営にどのように貴重な洞察をもたらすかを強調しました。SAP Signavio は、ビジネスプロセスの実際のフローを分析および視覚化することで、組織がボトルネック、非効率性、改善の余地がある領域を特定できるようにします。この知識を利用して、ワークフローを合理化し、生産性を向上させ、イノベーションを実現できます。

ダーウィン氏が強調した重要なメッセージの 1 つは、ビジネスプロセスの変更を成功させる上でデータ駆動型の意味決定が重要な役割を果たすということでした。同氏は、SAP Signavio のプロセスマイニング機能を高度な分析および機械学習と組み合わせることで、どのようにして膨大な運用データから洞察を引き出すことができるかを強調しました。これらの調査結果を活用することで、組織は情報に基づいた意思決定を行い、パターンを特定し、プロセスを最適化して効率とパフォーマンスを向上させることができます。

さらに講演者達は、ビジネスプロセス変革における機敏性と適応性の重要性を強調しました。彼らは、SAP Signavio の柔軟なモデリング機能により、組織が市場動向の変化にどのように迅速かつ効率的にプロセスを適応できるかを紹介しました。プロセスマネジメントへのこのアプローチにより、企業は混乱に直面しても機敏で即応性があり、回復力が高まり、最終的には長期的な成功への道が開かれます。

基調講演の直後、私はダーウィン・ディアノ氏と座り、SAP Signavio によるプラグアンドゲイン アプローチと組み合わせた Value Bridge の立ち上げと、それが顧客に与える影響について彼の見解を聞く機会がありました。

#### 質問:

ダーウィン、あなたは価値のギャップと価値の架け橋について話しましたが、ギャップの特定からギャップを埋める方法の発見までどのように取り組んでいるのか、もう少し詳しく教えていただけますか？

ダーウィン氏:

私たちが行っていることは、トップダウン分析、アウトサイドイン分析、そしてデータドリブン分析の組み合わせであり、それが SAP Signavio の機能が非常に重要である理由です。これらの機能により、事実とフィクションを迅速に区別し、機会を特定し、修正と革新の推奨事項、および潜在的な価値を活用することができます。現在、私たちはそれをアウトサイドインの視点と組み合わせ、バリューライブラリーとデジタルユースケースライブラリーを活用して、ビジネス戦略部門と運用モデルの理解を比較、対比し、組み込んで正しい答えに到達しています。情報はたくさんありますが、クライアントがどこに焦点を当て、価値の可能性にどのように焦点を当てるべきかを理解するには、マッキンゼーと SAP の両方の強みが必要です。

#### 質問:

貴社は、顧客が直感に基づく意思決定から、厳密にデータに基づいた意思決定プロセスに移行できるよう支援しています。この過程で顧客によく見られる他の落とし穴は何ですか？

ダーウィン氏:

興味深いのは、価値を提供するのではなく、システム稼働開始を提供することを奨励しているエコシステムがあるため、価値のギャップがあることに誰も驚かないことだと思います。しかし興味深いのは、企業が知識のギャップ、つまり時間の経過とともに失われる知識に気づいていないということです。

そのため、顧客が ERP を導入したとき、設計ドキュメントを取得し、ソリューションマネージャーがテストを通じて更新し、ハイパーケアを受けるとすぐに、何年にもわたる継続的な改善、バグ修正、プロジェクト、回帰などの知識が得られました。

知識が侵食されます。

だからこそ、私たちはプラグアンドゲインに非常に興奮しています。なぜなら、それは単なる幸せな道ではなく、現実を伝えるからです。完璧なデザインや完璧なデータだけではありません。さまざまな順列をすべて示し、どこに焦点を当てて努力する必要があるかを示します。

#### 質問:

素晴らしい。立ち上げ前に、他のパートナーやお客様とのプラグアンドゲインによる弊社のアプローチの一部をプレビューする機会があったと思います。市場からはどのような初期反応が聞こえていますか？

ダーウィン氏:

非常に興味深く、私も彼らに完全に同意する最初の反応は、行動を促すものだと思います。なぜなら、注意しないと、プラグアンドゲインは現状維持に偏っていると誤解される可能性があるからです。そして、これほど真実からかけ離れたものはありません。しかし、私たちにできることは、マッキンゼーが、どのようなベースのシステムやデータがあなたにチャンスがあるのかを顧客が特定し、それをあなたのビジョン、ビジネス戦略、運営モデル、先進的な実践と対比させるためのカウンターウェイトを提供することです。基本的に、意味のあるものとそうでないもの、プロセスを別の方法で設定する必要がある部分を調整します。プラグが立っていないからといって、チャンスがないわけではありません。つまり、行動喚起が最大の反応であり、2 番目に重要なフィードバックは興奮です。大部分において、SAP の実装は過去 15 年間と同じ方法で行われていますが、プラグアンドゲインはそれを完全に破壊します。

プラグアンドゲインのアプローチに非常に興奮しています。何故なら、2023 年から、実装の一環としてスプレッドシートの作成に 10,000 時間も必要なくなるからです。生成型 AI の時代には、平均的なテクノロジーを最適化できます。そのため、変革には穏健なアプローチが必要です。私たちにとって、プラグアンドゲインは、変革の漏れを修正するための重要な機能の始まりです。

#### まとめ

過去に誰かが時間を延長しようとしていたのとは対照的に、価値実現までの時間を短縮するという共同の価値提案があると聞いて、とても新鮮です。私たち全員が同じ使命を担っています。それは、価値をより迅速に、より瞬時に高め、より迅速な結果をもたらす、双方に利益をもたらす方程式の正しい道筋を設定することです。私たちはビジネス変革の世界を変えることを楽しみにしています。

#### Value Bridge – 詳細

絶え間ないディスラプションと持続可能な成長の必要性に直面して、組織はデジタル変革とイノベーションへの取り組みを積極的に推進しています。しかし、ほとんどの組織は、これらの取り組みから得られる潜在的な価値を十分に実現するのに苦労しており、その結果、大きな価値のギャップが生じています。マッキンゼーの調査では、大規模な変革の 70% 近くで遅延が発生し、期待されたメリットが得られないことが明らかになりました。これらの課題をさらに悪化させるのは、

生成 AI、量子コンピューティング、ブロックチェーンなどの急速な技術進歩によってもたらされる機会と複雑さです。これらのテクノロジーは計り知れない可能性を秘めていますが、最大限の価値を引き出すには、機会の逸失や競争環境における脆弱性の増大を避けるための慎重なガイダンスが必要です。

この価値のギャップを埋めるには、価値に対する視点を変え、それをビジネスオペレーションモデルに根付いた継続的な成果として見るのが不可欠です。これには、戦略、運用モデル、プロセス、データ、テクノロジーを進化する環境に合わせて調整する必要があります。SAP Signavio を活用したマッキンゼーの包括的なサービスである Value Bridge は、組織が変革の過程を通じて継続的な価値を推進できるようにします。

Value Bridge は、価値のケースを前もって組み立て、変革中に価値を提供する能力を評価し、継続的な価値の実現を可能にする、エンドツーエンドのモジュール式アプローチを提供します。マッキンゼーの価値とエリートデジタルイノベーションのための客観的な先進的プラクティスを、SAP Signavio のデータドリブンな洞察とプロセス変革機能とともに活用することで、組織は望ましい成果を達成し、静的な価値目標の落とし穴を回避できます。

Value Bridge のオフリングは、SAP Signavio によるプラグアンドゲイン アプローチによって強化されています。